

「自分から自分でせいはい」自分らしく輝く子どもを目指して

Rainbow

文責 森本 高久(教頭)

令和7年10月 須坂市立須坂支援学校 学校だよりNo74



プレイルーム完成お祝いの会

10月10日に新しい「プレイルームの完成お祝いの会」が開かれました。須坂市教育長・教育委員・教育次長を含め須坂市教育委員会の皆様、まちづくり課の皆様、工事に携わっていただいた宮本設計事務所会長様・八田建設代表取締役様・マツナガ建設川久保様を含めてたくさんの方々に来賓として参加していただきました。

教育長先生や校長先生のお祝いの言葉、児童生徒代表として須加尾唯さんがお礼のあいさつ。小学部は新しいプレイルームで楽しみなことを発表しました。最後に村田一花さんのハッピーバースデ이의演奏の後に、みんなでいっしょに完成を祝って歌い、代表の方たちがテープカットをしました。お祝いの会の様子はGoolightさんや須坂新聞さんに取材していただいています。

早速、子どもたちが太鼓の演奏をしたり、休み時間に遊んだりして、活動の場としてスタートしました。



須坂小・支援学校音楽会



十月二十二日に、音楽会が行われました。天明五閑太鼓さんと一緒に、そろし組は「さんぽ」となりのトトロはなつきにじ組は「諏訪湖ばやし」を太鼓で演奏しました。

入退場も「わっしょい」のかけ声を須坂小学校の友だちとも一緒にしながら、御神輿を担いだり山車を曳いたりして行い盛り上がりしました。演奏も大成功！終わりのポーズも決めて、みんな笑顔で演奏できました。講評で小林雅彦前教育長先生からは、「支援学校の皆さんの太鼓の演奏。なんかこの会場がお祭りになったようにウキウキしてとても楽しかったです。」

何よりもすごいことは、演奏している皆さんが楽しそうに笑顔でやっていること。だから、聴いている人も笑顔になれるんだ。「ここ（ステージ）に立ったら、ねえみなさんこんなに楽しいんです。どうですか、私と一緒に楽しくありませんか」という（そういう）気持ちをもっているかもってないかで伝わり方が違うんです。私は、今日の支援学校の皆さんの太鼓の音と笑顔がほんとうに心の中に残っているんです。五閑太鼓の皆さんが（演奏を）支えてくれていましたね。あの音もすごい音だなと思いました。」と講評をいただきました。

音楽の時間に何回も足を運んでいただいて一緒に練習したり、本番も一緒に演奏したりしていただいた五閑太鼓のみなさん、ありがとうございました。

あゆみ展・郡市展覧会

十月二十五・二十六日に行われた、「あゆみ展」への来場ありがとうございました。四月から製作してきた作品が展示されました。

中学部では、自分たちの製作した陶芸作品や紙すき製品、油吸い取り紙、畑で育ててきた松本一本ねぎを販売しました。「いらっしやい」のかけ声の下、お買い上げいただいた商品を包んで、「ありがとうございました」とお渡ししたり、レジで会計をしたりして販売しました。



校舎改修情報

玄関にコンクリートが入りました。車椅子でも入りやすいように、スロープがつけられています。玄関が終わると、改修工事の残りが電源工事（学校変電設備）となります。

くぬぎの時間 体験フェスティバルに参加して

先日行われた「くぬぎの時間体験フェスティバル」では、講師の皆さんの丁寧なご指導のもと、子どもと一緒に羊毛フェルトを体験しました。チクチクとフェルトを刺していく作業が楽しく、子どもも真剣に取り組んでいました。講師の方々の温かい声かけやわかりやすい説明により、親子共に楽しく取り組みました。貴重な学びの場を提供してくださった講師の皆さんにこの場をお借りして心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

学級委員会 委員長 深井 伊代菜